

〈施設紹介〉

土木試験室

コンクリートとひとくちにいつても、セメント、砂利、砂の配合の割合（配合比という）によって、橋にむくもの、道路の舗装にむくものというように色々あるし、又同じ橋でも、その構造や材料、要求される強さなどによって配合比も少しづつ違ってくる。

県の土木部がつている「土木試験室」はその配合比をどうするか？というようなテストを黙々とやっているところ。

場所は県庁の裏手、倉庫の建ち並んでいる一劃にあるが、土木部の職員以外にはあまり知られていない程その存在は地味だ。然しその仕事はなくてはならない程貴重なもの。

建物の中では、土木部の技術者たちが、色々な試験機械を使ってコンクリートのカタマリを破壊試験をコツコツと行っている。得られた沢山の数字によって、砂利などの配合比を決定して現場で活かしていく。

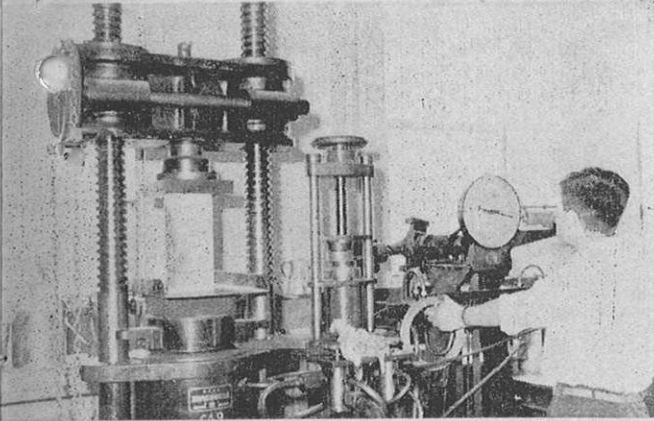
コンクリートばかりではない。アスファルトの配合比の試験もやる。技術者たちはこの配合比の決定を「配合設計」とよんでいる。図面の

設計と同様に、この配合比の決定は土木工事に大きなウェイトを占めているわけだ。

又、土の試験もやっている。土木事業である以上、土のゴヤツカイにならねばならないが、土の研究は世界各国とも未完成だ。この土木試験室でもいち早くとりあげ、土質試験を続けてきた。

紙面の都合で色々な試験の方法など紹介できないのは残念だが、壮大な建設工事の陰には、このように黙々として地味なテストを続けている技術者がいることを知ってもらいたいものだ。

（写真は試験室の内部。左の機械にはさめてあるのがコンクリートのカタマリ、いま圧力をかけている）



国体への粧いにも拍車

—県の都市計画はどう進められているか—

△写真はキレイになった熊本駅前▽

都市計画の仕事にはいろいろありますが、まず土地区画整理事業では戦災で焦土化した熊本、荒尾、水俣、宇土の各市の復興をはじめ、水害の復旧などがあり、又土地開発の区画整理事業として県や市、組合ですでに実施したものでも五百ヶ所に及んでいます。

こういった新市街地では、今までの狭い錯綜した道路は道巾が広められ、整理とした区画に近代的な建物が連なり、住みよい街づくりが生まれていま

（前頁より）

ある道路は、九州横断道路、天草架橋、九州縦断道路等を重点的に取り上げ改良整備する考えです。

★九州横断道路

九州の三大観光地である別府—阿蘇—雲仙を繋ぐ九州横断道路は、国際観光ルートであるばかりでなく、産業経済上欠くことのできない大幹線です。本県の関係分は阿蘇郡南小国村瀬の本から一の宮町にいたる主要地方道別府一の宮線と、大津町を通り熊本市に出る二級国道熊本大分線、それから宇土市迄の一級国道三号線、宇土郡三角町までの二級国道島原宇土線の四路線で総延長百四十四軒あります。

このうち瀬の本からの一の宮西平野までを道路公団が有料道路として整備する予定で、残り県で改良舗装しています。が、総事業費約二十八億円を要します。しかし三十九年の東京オリンピック開催までは、全線ほとんど舗装整備された立派な道路になることでしょう。

★天草架橋

永い間夢のかけ橋といわれて来た離島天草と九州本土を結ぶ天草架橋も、道路公団により三十六年度より着工の予定です。

三角町から大矢野島を通り、天草上島の松島町を結ぶルートのうち、大矢野島

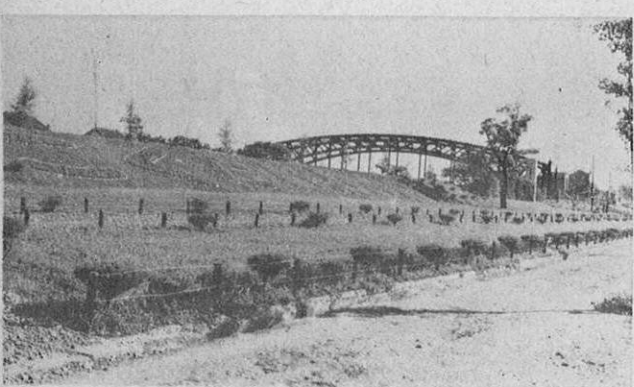
前の整備も準備が進められています。

一方、水前寺国体競技場へ通ずる水前寺ガートの抜修整備、熊本・福岡を結ぶ幹線街路、万田三川線の西原ガートの抜修整備などもすでに工事中であり、県営熊本城プール地帯の公園化、県営藤崎台野球場の整備も着々と進んでいます。

これらの都市計画の施設に呼応して、緑地帯の造成や、花いっぱい運動など国体を前にして、積極的な働きかけが見られるようになったことは喜ばしいことです。

（都市計画課）

△街路の美化も進んでいく▽



の道路七軒は県で三十四年度から着工していますが、三角—大矢野島間、大矢野島—永浦島—池島—前島—松島町間の五橋と取付道路は、有料道路として公団が施行する予定になっています。

この橋が完成すれば、天草島の経済文化の発展は期して待つべきものがあり、又美しい島々の間を優美な長大橋でむすんだ景観は、観光的にもすぐれた価値を示すものと思われまます。

★九州縦断道路

北九州と南九州を九州山脈にそって最短距離で結んだルートで、沿線山岳地帯の未開発資源を最高度に開発しようとするものです。

このうち本県では、大分県日田市から阿蘇郡小国町を通り阿蘇町一の宮町に至る主要地方道、日田阿蘇線（四十三軒）とそれから高森を経由して蘇陽町に達し宮崎方面に通ずる主要地方道、一の宮馬見原線（五十一軒）とから成っております。一の宮馬見原線の未開通区間も本年度で全部改良が終了、日田阿蘇線も五ヶ年計画で改良することになっています。

（道路課）

国体前です……………
右側通行に
なれましよう

新規高校卒業者のために 大阪通勤寮を建設

新規高校卒業者の就職促進の一環として、大阪に通勤寮をつくることになりました。

この通勤寮をつくるにたいしては、早くから学校や父兄間でありましたが、県は今年に入つて、建設を日本住宅公団に依頼し、いよいよ建設に着手することになりました。

完成は本年度中ですが、これによつて、来春の卒業者は早速利用できると見られています。

△通勤寮のあらまし▽

▽敷地、二五〇坪。大阪府池田市五月ヶ丘、日本住宅公団分譲地。
▽通勤時間は、大阪梅田駅から電車で約二十分、

▽建物、鉄筋コンクリート、寮室二十室、食堂兼娯楽室、浴室その他いろいろ設備が完備される。

▽収容定員 四十名。経費は一人月四千円程度の予定。

▽入寮者は、学校と公共職業安定所の推せんが必要で、その中から県が決定することになっている。

（職業安定課）